

令和3年度 第13回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和4年2月2日（水） 13時00分から14時30分まで

開催場所：分散型WEB会議（市長公室、A203-204会議室ほか）

出席者：佐藤市長、高田副市長、代田教育長、櫻井総務部長、塚平総合政策部長、細田リニア推進部長、塚平市民協働環境部長、高山健康福祉部長、串原産業経済部長、星野産業経済部参事、米山建設部長、毛利建設部参事、土屋上下水道局長、宮内市立病院事務局長、原田市長公室長、田中危機管理室長、北原会計管理者、和泉議会事務局長、松下教育委員会参与、南信州広域連合吉川事務局長、佐々木財政課長、林企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

昨日の臨時議会は大変お疲れ様でした。予算決算委員会の審議が長時間に及び、全員協議会では活発な質疑があった。いろいろなご意見があったが対応すべきところはしっかりと対応すること。議員の理解が進んでいないと思われる点は、市民に対しても丁寧な情報発信をお願いしたい。

過日の新聞報道では、飯田市人口の社会減が全市町村の中で最も大きいことが明らかになった。単に多い少ないという数の問題だけではなく、市民や移住される方々の満足度も大切であるし、結いターン移住定住対策室のひとりひとりに寄り添った対応は評価している。改めて、この指標をしっかりと受け止め、部局長の皆さんと共有していきたい。

<副市長>

昨日の全員協議会では、(仮称)飯田駅前プラザにかかる議論において、議員の皆さんに分かりやすく、丁寧に説明することが大事であると感じた。第1回定例会も、丁寧な対応が必要となる案件が数多くある。日程的にタイトであるが、しっかりと調整し、わかりやすい説明をお願いしたい。

<教育長>

今年に入ってから行った休校措置については、今現在、全ての学校が再開している。この間、学校現場、保健所、子育て支援課など、庁内の協力に感謝申し上げる。他の自治体ではなかなか難しいと言われているオンライン授業であるが、飯田市の全学校で実施している。反省しながら、よりよい授業づくりへと高める取り組みが進められているところである。コロナ禍を機に、先生が常に学び続ける環境が改めて必要となっているなか、来年度から信州大学教職大学院サテライトキャンパスが飯田東中学校を拠点にスタートする。教育学部はじめ、信州大学と飯田市との絆が深まっていくと考えている。

2 協議事項

(1) 第2次飯田市中心間地域振興計画 中期の取組の策定について（市民協働環境部）

◇趣旨：第2次飯田市中心間地域振興計画に係る中期の取組（案）の策定について協議する。

◇論点・課題

- ・ 令和4年度から令和7年度の4年間を計画期間とする中期計画を策定する。
- ・ 計画案は、令和4年飯田市議会第1回定例会の総務委員会協議会及び全員協議会にて報告する。

◇主な意見等

(市長) 飯田市人口の社会減に関連して、この計画では移住定住の推進として、各地区で5人以上の移住者の誘致を目標としている。各地区に移住者が入っていただけるように、また各地区で取り組みが進むように全庁でサポートすること。

(2) 地域経済活性化プログラム2022について（産業経済部）

◇趣旨：地域経済活性化プログラム2022の策定に関する考え方、これまでの検討状況を報告し、今後の進め方について協議する。

◇論点・課題

- ・ 策定に関する考え方として、①定量・定性分析を共有した戦略づくり、②地域内経済循環の推進、③産

学官金連携による具体的な取組推進をポイントとした。

- ・ 令和4年飯田市議会第1回定例会の産業建設委員会協議会において報告する。

◇主な意見等

(市長) いろいろな指標から地域経済の姿や各産業の状況を指標化して見える化し、産業界の皆さんと共有する産業経済部の取り組みを評価している。

(教育委員会参与) ひとことかというと、次年度に向けたプログラムは、どこを重点において取り組むのか。全体の方向性と、特徴となる産業分野の重点について、整理した説明が必要である。

(産業振興課長) 地域内経済循環の強化、産業人材・担い手の確保、デジタル技術をいかした生産性の向上が柱となる。

(3) 令和4年度いいだ未来デザイン2028 戦略計画について (総合政策部)

◇趣 旨： 令和4年度いいだ未来デザイン2028 計画について協議する。

◇論点・課題

- ・ 令和4年飯田市議会第1回定例会補足説明資料として、事務事業進行管理表、いいだ未来デザイン2028 戦略計画、「議会による行政評価」からの評価及び提言書への回答を提出する。

◇主な意見等

(総合政策部長) 事務事業進行管理表は、例年、正誤表対応が発生している。そのようなことがないように、しっかりと確認すること。

3 報告事項

(1) 令和4年飯田市議会第1回定例会の議案について (総務部)

◇趣 旨： 令和4年飯田市議会第1回定例会に提出する予定の議案について報告する。

◇論点・課題

- ・ 令和4年飯田市議会第1回定例会 (2月24日提出分)：報告案件2件、人事案件3件、条例案件9件、一般案件5件、予算案件18件、計37件を予定。

(2) 令和3年度一般会計補正予算 (第13号) 案について (総務部)

◇趣 旨： 令和4年飯田市議会第1回定例会に提出する飯田市一般会計補正予算 (第13号) 案について報告する。

(3) 新型コロナウイルス感染症の職場復帰について (総務部)

◇趣 旨： 職員の同居家族等が陽性者・濃厚接触者・接触者となった場合等の状況と対応について報告する。

◇論点・課題

- ・ 社会機能維持のため必要な事業に従事する者に限り、抗原定性検査キットを用いた検査で陰性であった場合には、7日目を待たずに自宅等での待機を解除する取扱いを実施できることとされた。
- ・ 市立病院及び介護老人保健施設を除く職員が該当となった場合には、所属長は人事課に相談すること。

(4) 土砂災害特別警戒区域における建築基準法の規制に対する基本的な考え方 (内規) について (建設部)

◇趣 旨： 土砂災害特別警戒区域にある既存建築物の改修にあたって、建築基準法の規制に対する基本的な考え方を報告し、内規として定める。

◇論点・課題

- ・ 土砂災害特別警戒区域内での新築、増築、既存住宅の大規模改修は、建築基準法の趣旨にもとづき原則不可。
- ・ 既存建築物の改修のうち、耐震化など機能回復にあたる場合は、ソフト対策を講じることで改修可能とする。
- ・ 移住定住政策などに関連し、公共施設を所管する部局等ではとくに留意すること。

(5) 飯田市議会全員協議会 (2/21) における報告事項について (総合政策部)

◇趣 旨： 2月21日 (月) 開催の飯田市議会全員協議会で予定されている案件4件を報告する。

(6) 飯田市議会各委員会協議会における報告事項について（総合政策部）

◇趣 旨：3月1日（火）から3月8日（火）にかけて開催が予定されている令和4年飯田市議会第1回定例会の各委員会協議会の報告事項について報告する。

4 その他、連絡事項

(1) 信州大学教職大学院の南信州サテライトキャンパスの設置について（教育委員会）

◇趣 旨：令和4年3月より飯田東中学校に開設される、信州大学教職大学院南信州サテライトキャンパスについて情報を共有する。

◇論点・課題

- ・ 信州大学教職大学院は、教職員の資質及び指導力向上を目的に開設されている。
- ・ 南信州サテライトキャンパスでは、①教職大学院のサテライトキャンパス機能、②独立行政法人教職員支援機構信州大学センター機能の2つの機能が備わることとなる。
- ・ 令和4年3月13日（日）には、独立行政法人教職員支援機構信州大学センター主催の開校記念事業が、オンラインで開催される。

5 閉会